

酷暑対策

Column No.198

文・笠間市長 山口 伸樹



笠間中央公園に設置した日よけ

今年の夏は、6月から8月上旬にかけて38度前後の猛暑日が続きました。まさしく、猛烈な暑さでした。コロナ禍でマスクの着用もあり、息苦しさも感じました。年々厳しくなる暑さには、本当にうんざりします。

私はエアコンが苦手で、市役所の執務室でも主に扇風機を使用しています。自宅では、エアコンは年に2、3度使用する程度です。

エアコンで体が冷えてしまうと、体調を崩してしまう時もあります。扇風機で暑さをしのぐこと、食べることでの体力強化が私の酷暑対策です。

一方で、エアコンの上手な活用による暑さ対策も必要です。

今後は公共施設の暑さ対策も重要であり、その一つとしては、公園の日陰エリアや、避難所となる小・中・義務教育学校の体育館への対策、また、個人の住宅の対策などが必要であると思います。

市民の皆さんもそれぞれに、暑さ対策を考えて取り組んでください。また、良い提案がありましたらご意見をお待ちしています。

○笠間市のこれまでの最高気温 38・2度
(2007年8月15日)



土地や建物は 適正に管理しましょう

土地・建物等の適正な管理は、所有者や管理者の責務です。

適正に管理されていないと、草木の繁茂、害虫等の発生、ごみの不法投棄の誘発等により、周辺の生活環境に悪影響を及ぼします。また、不十分な管理が原因で、事故等が発生した場合、所有者の責任が問われる場合もあります。土地や建物が常に適正な状態を保てるように、定期的な除草や木竹の剪定など管理を行いましょ。

日頃から無用なトラブルを防ぐためにも、前もって所有物件の近所の方や地域の方に連絡先を伝えておくことで、問題が発生した時にもすぐに対応ができ、良好な関係の構築に繋がります。

なお、市では、利活用可能な空家・空地の売却や賃貸を希望する方に情報提供を行う「空家・空地バンク制度」を設けています。詳しくは企業誘致・移住推進課へお問い合わせください。

問 環境政策課(内線125)
企業誘致・移住推進課(内線593)